

音楽科 中学校第2・3学年下カリキュラム

月	単元・指導内容	学習指導要領の内容	時数	重点化の理由	下学年等での既習事項	円滑な接続への留意事項	上学年等での学習事項	備考 ■実践例 ◆課題
4	日本の歌の美しさ ・歌詞の内容を理解して強弱を生かした表現を工夫しよう。 「花」 ・詩や曲が作られた背景を理解して曲に込められた思いを表現しよう。 「花の街」	A(1) アイ	2	・歌詞に込められた思いや、音楽の味わいと音楽を形づくっている要素との関わり理解して表現を工夫することができる。	中学校第2, 3学年上 「言葉を大切にした表現」	・言葉と旋律との関係 ・歌詞の内容に関心を持つようにする。 ・表現に関わる記号意味を確認する。 ・表現に関わる記号を生かした表現	・中学校第2, 3学年下のため記述なし。	
5	曲種に応じた歌い方の工夫 ・曲の感じに合った声でリズムを工夫して歌おう。 「L-O-V-E」 ・言葉によって変化するリズム 「ここが分かれば Grade up!」 ・曲の感じに合った歌い方や発音を工夫しよう。 「上を向いて歩こう」	A(1) イ A(1) ウ	3	・楽曲の特徴を感じ取り、それにふさわしい発声や歌い方を工夫して歌唱表現することができる。	中学校第2, 3学年上 「歌詞と旋律の関わり」	・各声部の聴取により関わりを確認する。 ・演奏できるように発声や発音の基礎的な技能を確認する。		
6	リズムパターンで構成する音楽 ・曲の構成を生かしてリズム伴奏を工夫しよう。 アンサンブルセミナー 「テキーラ」 「打楽器のための小品」 ・楽器を使って2人のやり取りをアンサンブルにしてみよう。 「Lets Create!」	A(2) ウ (3) イ A(2) イ	5	・リズムパターンに関心を持ちパターン通しを組み合わせで演奏したり全体のまとまりを工夫しながら音楽を構成することができる。	中学校第1学年 「リズムをつくろう」	・リズムのパターン化		
7	世界各地の楽器の音楽 ・世界各地の楽器の演奏を味わおう。 「世界の諸民族の音楽」	B(1) ウ	2	・諸外国の音楽に接しそれらの味わいを支えている音色や旋律、リズムなどを感じ取り、楽器の特徴を理解して聴くことができる。	・世界各地の歌声 ・世界各地の暮らしや自然と音楽とのつながりを知る。 ・世界の様々な楽器の音色や奏法に関心を持たせる。	・曲の特徴や魅力を支えているもの ・世界各地の暮らしや自然文化風土と音楽との関わりを理解する。 ・楽器の特徴を声の特徴に結び付けて関心を持つようにする。		

月	単元・指導内容	学習指導要領の内容	時数	重点化の理由	下学年等での既習事項	円滑な接続への留意事項	上学年等での学習事項	備考 ■実践例 ◆課題
8	1学期の復習		1					
9	ポピュラー音楽の魅力とその表現の工夫 ・ポピュラーの音楽を聴いてその特徴を味わおう。 「ポピュラー音楽」 「トリストエーザ」 「コンドルは飛んで行く」ほか	B(1)ウ A(2)アウ	3	・さまざまなポピュラー音楽についてそれらを形づくっている音楽の要素を感じ取りながら鑑賞したり表現の工夫に生かしたりすることができる。 ・表現の特徴の聴取と音楽の多様性の理解をすることができる。	中学校第1学年 「世界各地の音楽」 世界各地の暮らしや自然と音楽とのつながりを知る。 ・世界の様々な楽器の音色や奏法に関心をもつ。	・曲の魅力 (リズム・速度・強弱) ・世界各地の暮らし、自然文化風土と音楽との関わりを理解する。 ・楽器の特徴を声の特徴に結びつけて関心を持たせる。	中学校第2, 3学年下のため 記述なし	
10	名曲の鑑賞とプレゼンテーション ・オーケストラの響きを味わいながら、作曲者の思いを感じ取ろう。 「ブルタバ」(モルダウ) ・曲の良さをプレゼンテーションしてみよう。 「白鳥の湖」 「フィガロの結婚」	B(1)イ 共通事項ア B(1)ア	4	・音楽を形づくっている要素の知覚を通してそれらの働きが生み出す良さや面白さなどを感じ取り、楽曲の特徴や演奏の良さを言葉で表してコミュニケーションをとることができる。	中学校第1学年 「登場人物の心情や場面を想像して鑑賞する」	・登場人物の表現の違い、音楽と、その他の表現(舞踏・演劇)との関わりとその効果		
11	日本の心、イタリアの心を表す歌の味わい ・詩や速度の変化を生かした表現を工夫しよう。 「帰れソレントへ」 ・強弱の変化を生かした表現を工夫しよう。 「早春賦」 日本の伝統音楽の味わい ・日本の伝統音楽に親しもう 平調「越天楽」 羽衣	A(1)ア A(4)イ 共通事項ア B(1)イウ	5	・調や速度、強弱などの音楽を形づくっている要素の知覚を通して、それらの働きが生み出す歌の味わいや歌詞との関連を感じ取り曲にふさわしい表現を工夫することができる。 ・雅楽や能の特徴について、様式を含めて理解し、それらの特質や魅力を味わって聴くことができる。	・曲のもつ情緒を味わいながら ・歌詞の内容や旋律の特徴から曲の雰囲気を感じる。 ・いろいろな用語を理解する。	・それぞれの特徴とそのよさを味わう。 ・歌詞の内容に興味を持たせ、表現に生かされるようにする。 ・記号の意味を理解し、表現に生かす。		

月	単元・指導内容	学習指導要領の内容	時数	重点化の理由	下学年等での既習事項	円滑な接続への留意事項	上学年等での学習事項	備考 ■実践例 ◆課題
1 2	混声合唱へのステップ① ・曲のしくみを理解して表現を深めよう。 「風の中の青春」 ・強弱の変化を生かして合唱しよう。 「自由への讃歌」	A (1) ウ 共通事項アイ A (1) アイウ	3	・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す曲想や魅力を生かして表現を工夫することができる。	さまざまな曲想の表現 ・歌詞の内容や旋律の特徴から曲の雰囲気を感じ ・いろいろな用語や記号を理解させる。	・歌詞の内容に関心を持つようにする。 ・表現に関わる記号・意味を生かした演奏をする。	中学校第2, 3学年下のため 記述なし	
1 2 3	混声合唱へのステップ② 「ふるさと」 「卒業のうた」 「君が代」 学年のまとめ	A (1) アイウ	6 1	・歌詞の内容を理解し、作者の心情や曲の情景を感じ取ることができる。		・各声部の聴取により関わりを確認する。		
	中学校第3学年		3 5					